

1 上越地域 (1)直江津周辺地域

1) 地域の概要

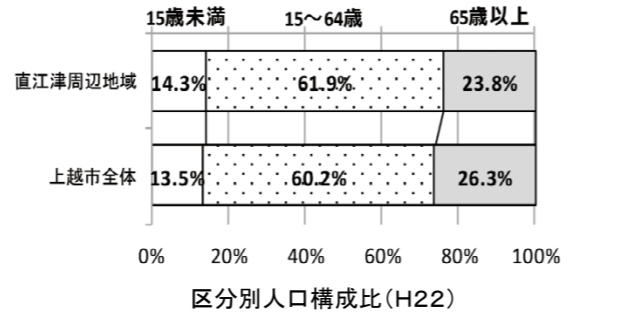
《位置》

●直江津周辺地域は、上越都市計画区域の北部に位置し、北側に日本海、西側に中山間地域が広がる地域です。地域の中心部で一般河川の関川、保倉川が合流し、その周辺に広がる平坦地に市街地が形成されています。

《都市計画上の位置づけ》

●直江津周辺地域は、線引き都市計画区域※となっており、直江津港、直江津駅、五智公園などを含む地域の大部分が市街化区域に、森林が広がる地域西側の一部及び農地が広がる地域南側の一部が市街化調整区域になっています。

※線引き都市計画区域：無秩序な市街化を防止し、計画的に市街化を進めるため、市街化区域と市街化調整区域に区分している都市計画区域



出典：国勢調査に基づき集計

2) 地域の現状と課題

●商業、工業、観光、文化などの多様な都市機能が集積する地の利をいかすとともに、都市機能が利用しやすい魅力的な居住の場を提供するなど、暮らしやすい居住環境及び都市機能の維持・形成に取り組む必要があります。

●北陸自動車道や一般国道8号などの幹線道路、信越本線や妙高はねうまライン・日本海ひすいラインなどの鉄道、直江津港を起点とする航路などが結節する交通の要衝として、地域の日常生活や産業活動を支え、本地域と他地域との交流・移動を支えることが必要です。

●日本海に面し、一般河川の関川、保倉川の河口付近に市街地が広がる本地域では、洪水や津波に伴う浸水被害、沿岸部における海岸浸食などの課題に対応し、安全・安心なまちづくりに取り組むことが必要です。

3) 本地域が担う役割

『商業、工業、観光、文化、居住、交通などの多様な機能を有する地域』としての役割を担います。

4) 地域づくりの方針

●めりはりのある土地利用や都市拠点の形成、新水族博物館の整備に合わせた公園などの整備により、公共施設や商業施設、工業団地、観光・文化施設、居住などの機能の維持・集積を目指します。

●交通の要衝としての役割を引き続き担うため、幹線道路の整備促進や必要な生活道路の整備、公共交通ネットワークの確保などにより、交通結節点としての機能の維持・集積を目指します。

●河川の適正な維持管理、津波避難誘導看板の設置やハザードマップなどによる周知活動、海岸保全施設の整備促進、自主防災組織の支援などの防災・減災対策に取り組み、安全・安心な暮らしを支える環境の維持・確保を目指します。

1 地域資源

●直江津周辺地域は、交通の要衝として古くから栄えた歴史文化のまちであり、親鸞聖人上陸の地と言われる居多ヶ浜、上杉謙信が再興した五智国分寺などの様々な名所があります。



直江津港周辺 中部電力株式会社提供

●直江津港は、上越市と佐渡市を結ぶ小木直江津航路が運航されており、広域観光の玄関口となっています。また、韓国・中国への外貿定期コンテナ航路を有する重要港湾であるとともに、LNG火力発電所やLNG基地が操業するなどエネルギー拠点でもあります。上越沖日本海のメタンハイドレートの存在は、直江津港のエネルギー拠点としての重要性を一層高めることが期待されています。

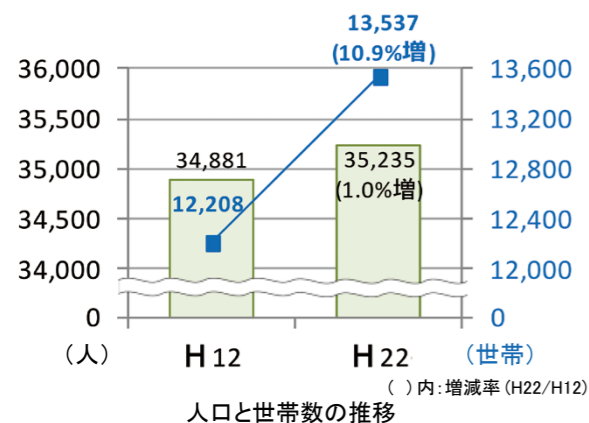


水族博物館

●また、化学や金属関係の大手製造業が立地し、関連企業を含め、市内経済を支えています。
●本地域には、なおえつ海水浴場や水族博物館などの観光資源があります。

2 人口・世帯数

●平成12年と比較し、平成22年時点では人口、世帯数ともに増加傾向にあります。
●平成22年時点では、高齢化率は市の平均よりも低く、15歳未満の人口比率は市の平均よりも高い状況になっています。



1 めりはりのある土地利用の推進

住居系

- 住宅を主とする低層低密な住宅地では、閑静でゆとりある良好な住環境の形成に向けた土地利用を推進します。
- 幹線道路の沿道では、日常生活を支える店舗や教育施設、交流施設などが身近にある暮らしやすい住環境の形成に向けた土地利用を推進します。
- 一般国道8号などの主要幹線道路の沿道では、身近な利便施設や良好な住環境が共存できる市街地環境の形成に向けた土地利用を推進します。
- 直江津駅周辺では、中高層住宅の誘導やオープンスペースの確保などにより、様々な都市機能をいかした利便性の高い住宅地の形成に向けた土地利用を推進します。

工業系

- 工業集積地では、交通の要衝に位置する充実した環境をいかして、企業誘致など産業分野の施策との連携により適正な土地利用を進めるとともに、社会経済情勢などの変化を踏まえ、地域のニーズに合った適正な土地利用を検討します。
- 直江津港周辺では、エネルギー港湾としての特徴をいかしつつ、物流拠点としての利便性を高め、物流やエネルギー関連企業、製造業などの集積を促進します。
- 流通業務地においては、北陸自動車道、一般国道8号、直江津港、直江津駅などに近接する充実した環境をいかし、流通業務系施設の立地を誘導するため、地域のニーズを踏まえて土地利用の面から適正に支援します。

商業系

- 直江津駅周辺の商業集積地では、上越地域全体の商業圏を支える集客性の高い商業施設や観光・交流施設などの集積を誘導します。
- 生活利便商業集積地では、隣接する住宅地の生活環境との調和を図りつつ、日常生活に必要な小規模な日用品店舗などの立地を誘導します。

農地自然

- 市街化調整区域においては、関係分野と連携しながら、優良な農地の維持・保全や自然資源の保全に向けた土地利用を目指します。

集落

- 都市計画制度の活用を図り、集落の活力の維持・向上に向けた地域住民の主体的な取組を支援します。

全地域

- 地域住民が身近に親むことができる様々な自然資源や観光・文化資源の活用などにより、市内外との交流・連携を都市計画の面から支援します。

2 拠点の形成 直江津駅周辺

- 生活の利便性を向上させるため、既存の都市機能の適正な維持・更新に加え、商業、交流施設などの多様な機能の立地を図ります。
- 歴史を感じさせるまちなみや景観、新水族博物館などの新たな地域資源の活用を図り、市内外との人の交流を促進します。
- 当地域の多様な機能を維持するため、関係分野との連携により空き店舗の利用促進や地域活動の支援などのソフト政策を展開し、商業活性化や居住環境の向上を支援します。

3 道路ネットワークの確保

拠点間

- 国道・県道については、適正な維持管理や安全に通行できる道路の整備を促進します。また、冬期間の安全な通行の確保や危険箇所の改善に向けた道路整備を促進します。

地域内

- 地域内の生活道路では、安全な通行を確保するため、適正な維持管理や必要な整備を進めます。また、冬期間の安全な通行の確保に取り組めます。

都市計画道路

- 直江津港から関東、北陸、長野方面に連絡する広域的な環状道路の形成や直江津港、新潟県南部産業団地などへの円滑な物流を確保するため、都市計画道路黒井藤野新田線の整備促進に引き続き努めます。
- 長期にわたって未着手となっている都市計画道路は、路線の必要性や事業の実現性を検証し、適正な見直しを検討します。

4 公共交通ネットワークの確保

地域全体

- 市民の日常生活を支え、市内外との交流を促進するため、拠点間を結ぶ路線バスの維持や重複する交通網の再編成などにより、市内外の人たちが利用しやすい鉄道やバスの地域公共交通網の形成を図り、維持していきます。

鉄道

- 利用者のニーズ（移動需要）を踏まえた運行本数やダイヤ設定などを働きかけます。
- 直江津駅では、妙高はねうまラインと日本海ひすいライン、信越本線及びほくほく線への乗り換えがスムーズに行えるよう、ダイヤの設定や発着ホームへの配慮を働きかけます。
- 上越妙高駅と市内各地を結ぶため、信越本線、ほくほく線への直通運転及び黒井駅停車の維持・増便や、上越妙高駅と直江津港を結ぶ公共交通の確保を働きかけます。

5 新水族博物館の整備に合わせた公園、駐車場などの整備

●市内外との人の交流を促進する機能の充実を図るため、新水族博物館の整備を推進するとともに、公園、駐車場など周辺施設の整備を検討します。

6 安全・安心な暮らしを支える基盤の形成

下水道

- 生活環境の改善や河川の水質汚濁防止を図るため、また集中豪雨などに伴う浸水被害を軽減するため、下水道（汚水・雨水）の整備を推進します。

浸水対策

- 国・県により管理される一級河川の関川、保倉川、戸野目川などの河川は、適正な維持管理を促進します。また、地域内の普通河川や雨水幹線などについても適正な維持管理を推進します。

津波対策

- 津波発生時の避難対象地域においては、避難場所表示や津波避難誘導看板の設置、ハザードマップなどによる周知活動を図ります。

地域防災力

- 木造建物の耐震化、雪害住宅の普及による耐久性や住宅環境の向上などを促進するとともに、行政と地域住民が連携しながら、避難場所となる身近な公園・広場や、避難路となる生活道路の確保を検討します。また、地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の結成及び活動を支援します。

空き家対策

- 放置された空き家は倒壊や火災などの危険性があることから、適正な管理や有効活用に向けた空き家対策を検討します。

土砂災害対策

- 土砂災害が生じる恐れのある区域では、行政と地域住民が連携した土砂災害防止や被害軽減に向けた取組を検討します。

海岸浸食対策

- 沿岸部の海岸浸食への対策として、海浜地の海岸保全施設の整備を促進します。

7 都市環境の保全

公害防止

- 産業活動に起因する騒音などの公害を防止し、生活環境の維持・向上を図るため、周辺と調和した適正な土地利用への見直しを図るなど、必要に応じて都市計画の面から支援します。

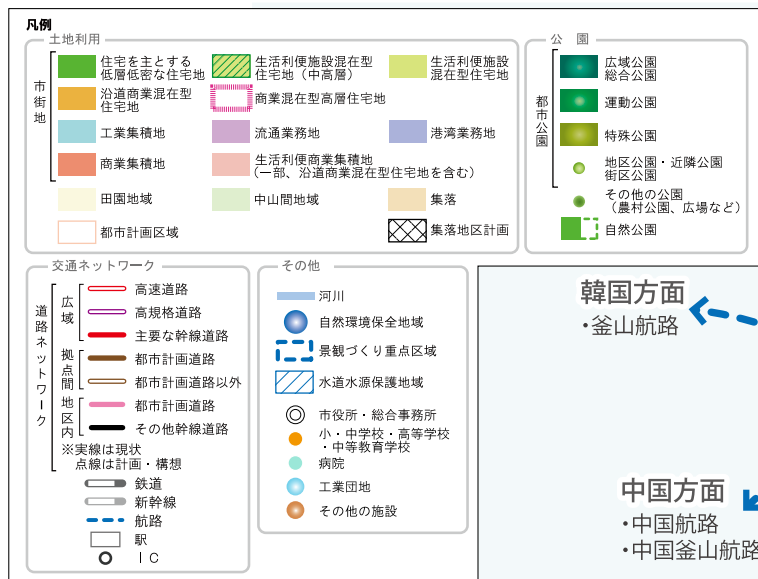
緑地空間

- 環境負荷低減などのため、関係分野と連携しながら、公園緑地や街路樹などの緑地空間の保全・維持管理を推進します。

砂防林

- 海岸部特有の飛砂による被害の防止に向けて、関係分野と連携しながら松林などの飛砂防備保安林の保全・維持管理を推進します。

地域づくりの方針図（直江津周辺地域）



1 上越地域 (2)春日山周辺地域

1) 地域の概要

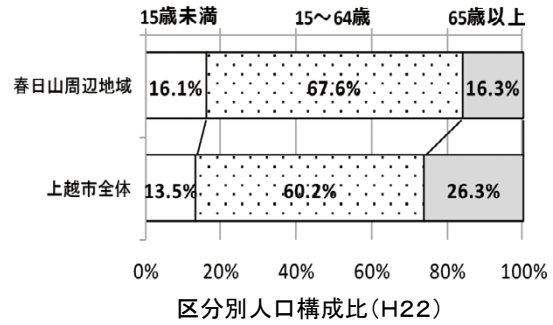
《位置》

●春日山周辺地域は、上越都市計画区域のほぼ中心部に位置し、中心部を南北方向に流れる一級河川関川の両岸に広がる平坦地に市街地が形成されている地域です。

《都市計画上の位置づけ》

●春日山周辺地域は、線引き都市計画区域※となっており、一般国道18号上新バイパス、一般県道上越脇野田新井線（通称：上越大通り）、妙高はなうまライン、主要地方道上越新井線（通称：山麓線）の沿道を中心に市街化区域が広がり、その外縁部の一部が市街化調整区域になっています。

※線引き都市計画区域：無秩序な市街化を防止し、計画的に市街化を進めるため、市街化区域と市街化調整区域に区分している都市計画区域



出典：国勢調査に基づき集計

1 地域資源

- 春日山駅周辺には、上越市役所、上越文化会館、総合体育館・勤労身体障害者体育館などの公共施設があります。
- 一級河川関川より東側には、北陸自動車道上越インターチェンジがあり、その周辺に商業施設や流通業務団地、総合病院などがあります。
- 本地域の西側には、国の指定史跡である春日山城跡、春日神社、林泉寺、春日山神社、埋蔵文化財センター、春日山城跡ものがたり館などの観光・文化資源があります。
- 本地域には、リージョンプラザ上越、教育プラザ、農業研修センター芙蓉荘など、研修や集会、スポーツ、娯楽などを通じて様々な人や団体が交流する場所となる施設があります。



2) 地域の現状と課題

- 本地域においては、上越市役所、上越文化会館、リージョンプラザ上越などの公共施設や交流施設が集積する地の利をいかすとともに、都市機能が利用しやすい魅力的な居住の場を提供するなど、暮らしやすい環境及び都市機能の維持・形成に取り組むことが必要です。
- 一級河川関川より東側では、広域ネットワーク及び北陸自動車道上越インターチェンジに近接する充実した環境をいかした土地利用を進める必要があります。
- 春日山、春日山城跡、春日神社、林泉寺、春日山神社、埋蔵文化財センター、春日山城跡ものがたり館などがある春日山一帯では、地域住民が身近に親しむことができる自然資源や歴史的な観光・文化資源などをいかして、市内外との交流・連携の更なる充実に取り組む必要があります。

3) 本地域が担う役割

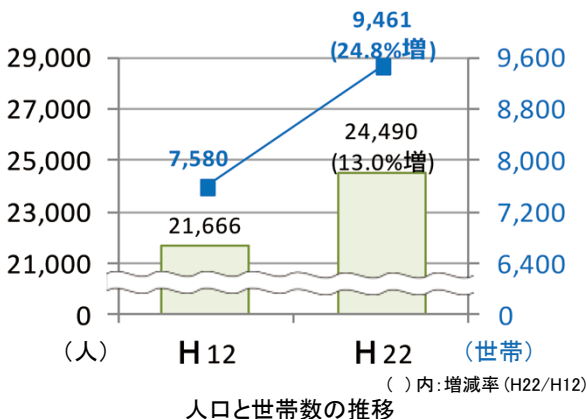
『行政、文化、交流、商業、流通業務、観光、居住などの多様な機能を有する地域』としての役割を担います。

4) 地域づくりの方針

- 行政、文化、交流、暮らしの中心となる多様な機能を有する地域としての役割を果たすため、めりはりのある土地利用や都市拠点の形成などにより、公共施設、交流施設、居住などの機能の維持・集積を目指します。
- 周辺の住環境に配慮しながら、北陸自動車道上越インターチェンジに近接する充実した環境をいかした商業、流通業務などの都市機能の維持・集積に努めます。
- 春日山城跡、春日神社、林泉寺、春日山神社、埋蔵文化財センター、春日山城跡ものがたり館など、春日山一帯の次世代に引き継ぐべき様々な自然資源や観光・文化資源を活用した市内外との交流・連携を支援します。また、幹線道路や生活道路の適正な維持管理及び整備、雨水対策などに取り組みます。

2 人口・世帯数

- 平成12年と比較し、平成22年時点では人口、世帯数ともに増加傾向にあります。
- 平成22年時点では、高齢化率は市の平均よりも低く、15歳未満の人口比率は市の平均よりも高い状況となっています。



1 めりはりのある土地利用の推進

住居系

- 住宅を主とする低層低密な住宅地では、ゆとりある良好な住環境の形成に向けた土地利用を推進します。
- 幹線道路の沿道では、日常生活を支える店舗や教育施設、交流施設などが身近にある暮らしやすい住環境の形成に向けた土地利用を推進します。
- 主要地方道上越新井線（通称：山麓線）などの主要幹線道路の沿道では、身近な便利施設や良好な住環境が共存できる市街地環境の形成に向けた土地利用を推進します。
- 春日山駅周辺では、中高層住宅の誘導やオープンスペースの確保などにより、本地域の様々な都市機能をいかした利便性の高い住宅地の形成に向けた土地利用を推進します。

工業系

- 流通業務地では、周辺の住環境と共存し、かつ工業地としての利便性を向上させる流通関連施設の誘導を推進します。

商業系

- 春日山駅周辺及び上越インターチェンジ周辺の商業集積地では、上越地域全体の商業圏を支える集客性の高い商業施設や観光・交流施設などの集積を誘導します。
- 特に、上越インターチェンジ周辺においては、広域ネットワークに近接する充実した環境をいかし、引き続き、既存の商業・流通業務機能の維持・集積に努めます。
- 生活利便商業集積地では、隣接する住宅地の生活環境との調和を図りつつ、日常生活に必要な小規模な日用品店舗などの立地を誘導します。

農地自然

- 春日山城跡、春日神社、林泉寺、春日山神社、埋蔵文化財センター、春日山城跡ものがたり館など、春日山一帯にある地域住民が身近に親しむことができる自然資源や観光・文化資源の保全と活用に向けた土地利用を目指します。特に、国指定史跡である春日山城跡を含む春日山一帯では、関係分野の施策に基づき取組と連携しながら、その保存管理及び活用に取り組みます。

集落

- 市街地調整区域においては、都市計画制度の活用を図り、集落の活力の維持・向上に向けた地域住民の主体的な取組を支援します。

全地域

- 地域住民が身近に親しむことができる様々な自然資源や観光・文化資源の活用などにより、市内外との交流・連携を都市計画の面から支援します。

2 拠点の形成 春日山駅周辺

- 行政、文化、交流などの多様な機能の適正な維持・更新を図ります。また、上杉謙信ゆかりの春日山への玄関口であることをいかして交流の促進を図るとともに、暮らしやすい住環境の維持に取り組みます。
- 本地域及び上越市全体の生活利便性向上と地域活性化を図るため、本地域と各拠点との連携を支える交通ネットワークの形成を促進します。



上越市役所

3 道路ネットワークの確保

拠点間

- 国道・県道については、適正な維持管理や安全に通行できる道路の整備を促進します。また、冬期間の安全な通行の確保や危険箇所への改善に向けた道路整備を促進します。

地域内

- 地域内の生活道路では、安全な通行を確保するため、適正な維持管理や必要な整備を進めます。また、冬期間の安全な通行の確保に取り組みます。

都市計画道路

- 幹線道路網及び市街地内の生活道路網の形成を図るため、社会経済情勢の変化や地域での必要性も踏まえ、関係機関と連携しながら都市計画道路の整備に努めます。
- 長期にわたって未着手となっている都市計画道路は、路線の必要性や事業の実現性を検証し、適正な見直しを検討します。

4 公共交通ネットワークの確保

地域全体

- 市民の日常生活を支え、市内外の人々の交流を促進するため、拠点間を結ぶ路線バスの維持など、市内外の人たちが利用しやすい鉄道やバスの地域公共交通網の形成を図り、維持していきます。

鉄道

- 利用者のニーズ（移動需要）を踏まえた運行本数やダイヤ設定などを働きかけます。特に、妙高はねうまラインについては、上越妙高駅における北陸新幹線との乗り換えがスムーズに行えるようにダイヤの設定などへの配慮を働きかけます。

5 安全・安心な暮らしを支える基盤の形成

下水道

- 生活環境の改善や河川の水質汚濁防止を図るため、また集中豪雨などに伴う浸水被害を軽減するため、下水道（汚水・雨水）の整備を推進します。

浸水対策

- 国・県により管理される一級河川の関川、正善寺川、御館川などの河川は、適正な維持管理を促進します。また、地域内の普通河川や雨水幹線などについても適正な維持管理を推進します。

地域防災力

- 木造建物の耐震化、克雪住宅の普及による耐久性や住宅環境の向上などを促進するとともに、行政と地域住民が連携しながら、避難場所となる身近な公園・広場や、避難路となる生活道路の確保を検討します。また、地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の結成及び活動を支援します。

空き家対策

- 放置された空き家は倒壊や火災などの危険性があることから、適切な管理や有効活用に向けた空き家対策を検討します。

6 都市環境の保全

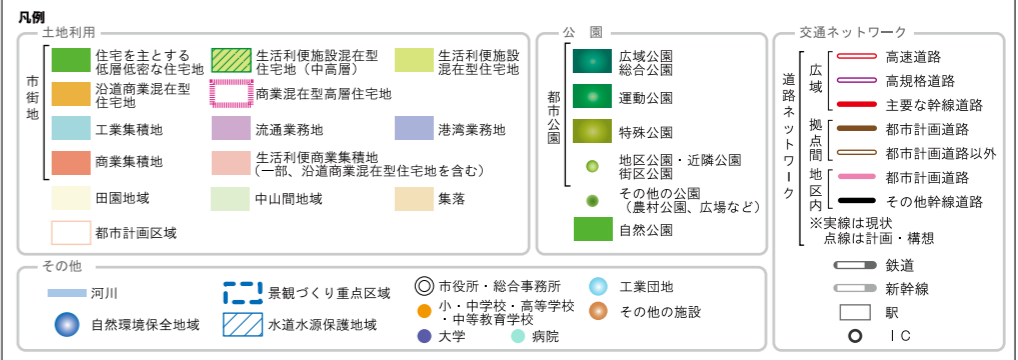
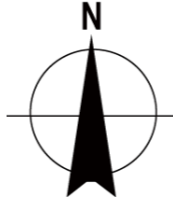
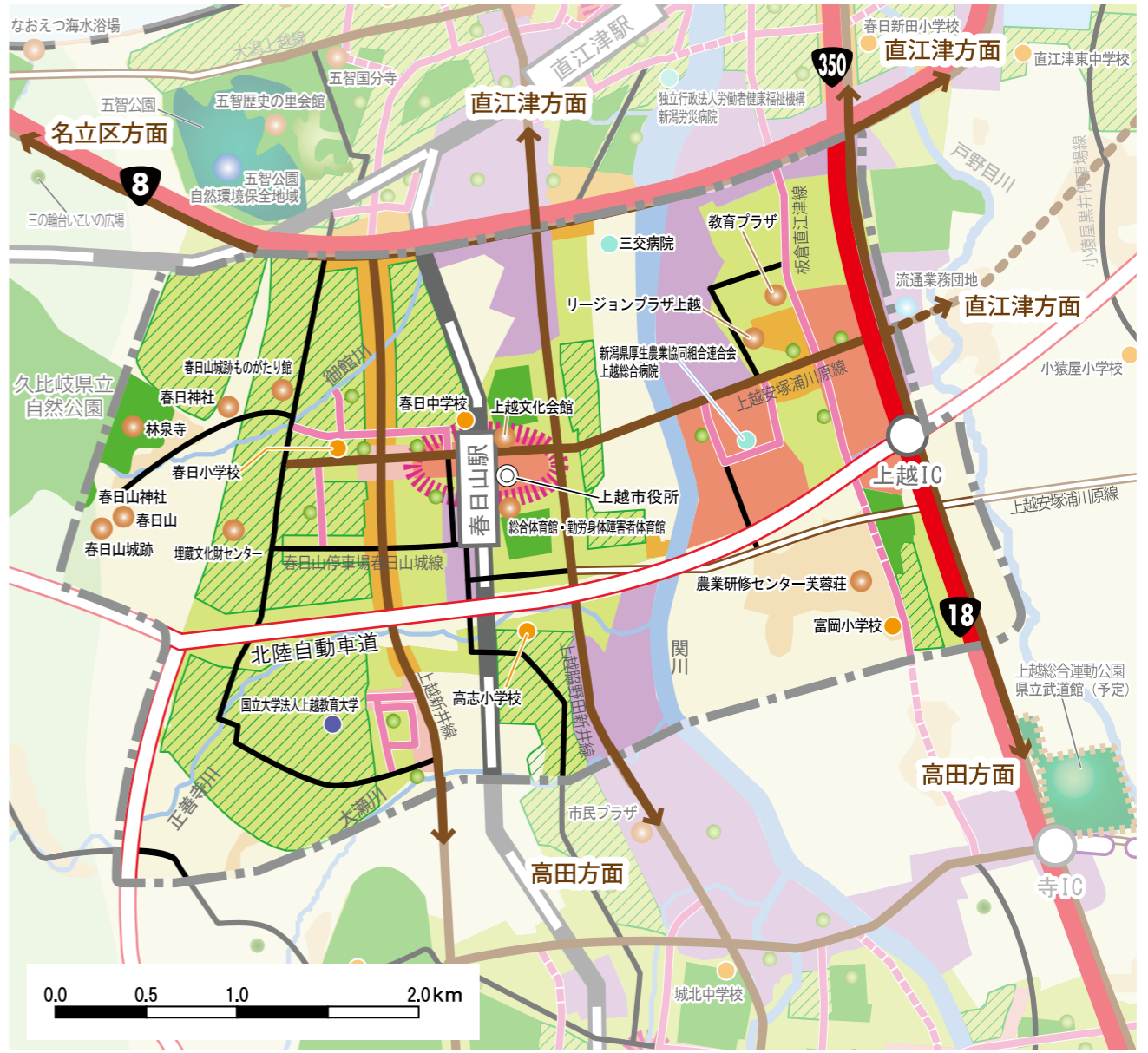
公害防止

- 産業活動に起因する騒音などの公害を防止し、生活環境の維持・向上を図るため、周辺と調和した適正な土地利用への見直しを図るなど、必要に応じて都市計画の面から支援します。

緑地空間

- 環境負荷低減などのため、関係分野と連携しながら、公園緑地や街路樹などの緑地空間の保全・維持管理を推進します。

地域づくりの方針図（春日山周辺地域）



1 上越地域 (3)高田周辺地域

1) 地域の概要

《位置》

●高田周辺地域は、上越都市計画区域のほぼ中心部に位置し、西側には中山間地域が広がり、東側には一級河川関川が流れており、その周辺に広がる平坦地に市街地が形成されている地域です。

《都市計画上の位置づけ》

●高田周辺地域は、線引き都市計画区域[※]となっており、地域の大部分が市街化区域ですが、外縁部の一部が市街化調整区域になっています。

※線引き都市計画区域：無秩序な市街化を防止し、計画的に市街化を進めるため、市街化区域と市街化調整区域に区分している都市計画区域

1 地域資源

●高田周辺地域には、高田城三重櫓、総合博物館などの観光・文化施設が集積しています。高田公園は日本三大夜桜のひとつに数えられ、東洋一と賞されるハスが生息しています。



高田公園

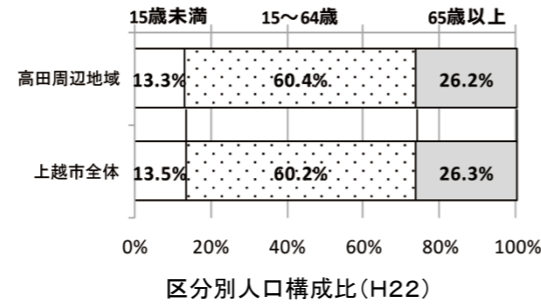
●また、日本スキー発祥の地である金谷山公園などの観光資源や、雪国の暮らしを象徴する雁木、浄興寺を有する寺町などの歴史的なまちなみが形成されています。



雪国の暮らしを象徴する雁木

●一般県道越前野田新井線（通称：上越大通り）沿線には、様々な市民活動の場となる市民プラザがあります。

●一級河川関川より東側には、新潟県立中央病院、新潟県立看護大学があります。また、上越魚沼地域振興快速道路の整備予定地と隣接して上越総合運動公園があり、将来的には県立武道館（予定）が整備される予定です。



出典：国勢調査に基づき集計

2) 地域の現状と課題

●上越市の中心地としての歴史的背景や、これまでに整備された道路、下水道などの都市基盤、高田公園などの既存の地域資源をいかすとともに、上越魚沼地域振興快速道路や上越総合運動公園などの整備進展や今後の社会経済情勢の変化に合わせた地域づくりが必要です。

●高田駅周辺に広がる市街地においては、商業、医療、福祉、観光、文化、交通、流通業務などの多様な都市機能が集積する地の利をいかすとともに、都市機能が利用しやすい魅力的な居住の場を提供するなど、暮らしやすい居住環境及び都市機能の維持・形成に取り組むことが必要です。

●雪国の暮らしを象徴する雁木、浄興寺を有する寺町などの歴史的なまちなみなど、上越市を代表する歴史・雪国文化を象徴する景観の形成・保全に向けて、引き続き取り組むことが必要です。

3) 本地域が担う役割

『商業、医療、福祉、観光、文化、交通、居住、流通業務などの多様な機能を担う地域』としての役割を担います。

4) 地域づくりの方針

●市街地の良好な住環境の形成、市街地の無秩序な拡大の抑制などのめりはりのある土地利用、憩いと交流の場となる高田公園の機能強化などを進めるとともに、上越魚沼地域振興快速道路や上越総合運動公園などの整備進展、社会経済情勢の変化などに伴う新たな地域のニーズに応じた土地利用などを検討します。

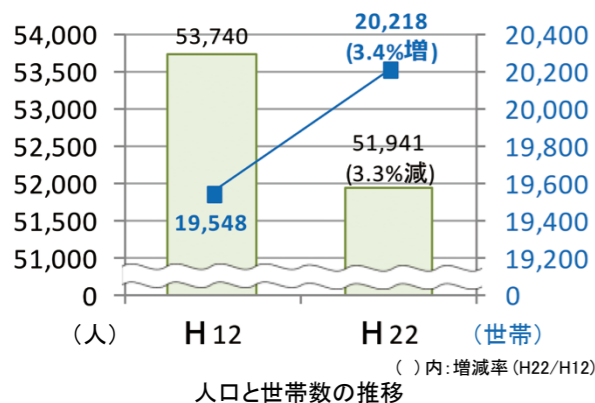
●商業、医療、福祉、観光、文化、交通、居住、流通業務などの多様な機能を有する地域としての役割を果たすため、めりはりのある土地利用や都市拠点の形成などにより、公共施設や商業施設、医療・福祉施設、観光・文化施設、交通施設、流通業務施設、居住などの機能の維持・集積を目指します。

●上越市の文化と歴史を象徴するまちなみ・景観を次世代に残すための都市景観の形成・保存に努めます。

2 人口・世帯数

●平成12年と比較し、平成22年時点では人口が減少傾向、世帯数が増加傾向にあります。

●平成22年時点では、高齢化率は約26%であり、人口構成比は市の平均に近い状況となっています。



1 めりはりのある土地利用の推進

●住宅を主とする低層低密な住宅地では、閑静でゆとりある良好な住環境の形成の促進に向けた土地利用を推進します。特に、歴史的資源が集積する地区においては、歴史的な雰囲気と周辺環境との調和や良好な住環境の形成に向けた土地利用を目指します。

●幹線道路の沿道では、日常生活を支える店舗や教育施設、交流施設などが身近にある暮らしやすい住環境の形成に向けた土地利用を推進します。

●一般国道18号上新バイパスなどの主要幹線道路の沿道では、住環境に配慮した沿道の商業・業務施設などの立地を適正に図れるよう、身近な利便施設や良好な住環境が共存できる市街地環境の形成に向けた土地利用を推進します。

●高田駅周辺では、中高層住宅の誘導やオープンスペースの確保などにより、本地域の様々な都市機能をいかした利便性の高い住宅地の形成に向けた土地利用を推進します。

●流通業務地においては、上信越自動車道越前野田インターチェンジに近接する充実した環境をいかし、流通業務系施設の立地を誘導するため、地域のニーズを踏まえて土地利用の面から適切に支援します。

●高田駅周辺の商業集積地では、上越地域全体の商業圏域を支える集客性の高い商業施設や観光・交流施設などの集積を誘導します。

●寺インターチェンジ周辺については、上越魚沼地域振興快速道路及び周辺道路の整備の進捗状況や地域のニーズなどを考慮して、ゲートウェイとしての位置づけを視野に、ふさわしい機能の整備・誘導に向けた土地利用を検討します。

●市街化調整区域においては、関係分野と連携しながら、優良な農地の維持・保全や自然資源の保全に向けた土地利用を目指します。

●都市計画制度の活用を図り、集落の活力の維持・向上に向けた地域住民の主体的な取組を支援します。

●地域住民が身近に親しむことができる様々な自然資源や観光・文化資源の活用などにより、市内外との交流・連携を都市計画の面から支援します。

2 拠点の形成 高田駅周辺

●医院・診療所や介護老人福祉施設、裁判所、税務署、ビジネスホテルなどの既に集積している都市機能や雁木などまちなみの歴史的価値をさらに高めるため、必要な都市機能の集積や歴史的まちなみの保存・活用を促進します。

●歴史文化などの地域資源をいかしたまちなかの回遊性や空き店舗などの既存ストックの活用などによるにぎわいの向上を支援します。

●まちなかの定住を促進するため、必要な狭路の拡幅や市街地再開発による住宅地整備などを検討し、居住環境の向上を図れるまちなみの形成を検討します。

●本地域及び上越市全体の生活利便性向上と地域活性化を図るため、本地域と各拠点との連携を支える交通ネットワークの形成を促進します。

3 道路ネットワークの確保

●市内外との広域的な移動と交流・連携を支える広域ネットワークの形成のため、上信越自動車道の4車線化の早期実現を働きかけます。

●国道・県道については、適正な維持管理や安全に通行できる道路の整備を促進します。また、冬期間の安全な通行の確保や危険箇所の改善に向けた道路整備を促進します。

●地域内の生活道路では、安全な通行を確保するため、適正な維持管理や必要な整備を進めます。また、冬期間の安全な通行の確保に取り組めます。

●幹線道路網及び市街地内の生活道路網の形成を図るため、社会経済情勢の変化や地域での必要性も踏まえて、関係機関と連携しながら都市計画道路の整備に努めます。

●長期にわたって未着手となっている都市計画道路は、路線の必要性や事業の実現性を検証し、適正な見直しを検討します。

4 公共交通ネットワークの確保

●市民の日常生活を支え、市内外の人々の交流を促進するため、南北軸の路線バスの維持、重複する路線バス網の再編成などにより、市内外の人たちが利用しやすい鉄道やバスの地域公共交通網の形成を図り、維持していきます。

●利用者のニーズ（移動需要）を踏まえた運行本数やダイヤ設定などを働きかけます。

●妙高はねうまラインについては、上越妙高駅における北陸新幹線との乗り換えがスムーズに行えるようにダイヤの設定などへの配慮を働きかけます。

5 憩いと交流の場となる高田公園の機能強化

●市民や市外から多くの観光客が訪れる高田公園は、憩いと交流の場としての魅力向上を図るため、桜の保護や育成、施設機能の充実など、計画的な整備・維持管理に努めます。

6 スポーツ活動を軸とした交流の場としての上越総合運動公園の整備

●スポーツ活動を軸とした交流の場を形成し、広域的な交流をさらに促進することにより地域活性化を図るため、県立武道館（予定）の整備計画の進捗をみながら、上越総合運動公園及びその周辺も含めた整備を計画的に進めます。

7 都市景観の保全

●上越市を代表する歴史・雪国文化を象徴する景観の形成・保存に向けて、地域住民と連携しながら雁木の維持・整備を促進します。

8 安全・安心な暮らしを支える基盤の形成

●生活環境の改善や河川の水質汚濁防止を図るため、また集中豪雨などに伴う浸水被害を軽減するため、下水道（汚水・雨水）の整備を推進します。

●国・県により管理される一級河川の関川、青田川などの河川は、適正な維持管理を促進します。また、地域内の普通河川や雨水幹線などについても適正な維持管理を推進します。

●木造建物の耐震化、克雪住宅の普及による耐久性や住環境の向上などを促進するとともに、行政と地域住民が連携しながら、避難場所となる身近な公園・広場や、避難路となる生活道路の確保を検討します。また、地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の結成及び活動を支援します。

●放置された空き家は倒壊や火災などの危険性があることから、適切な管理や有効活用に向けた空き家対策を検討します。

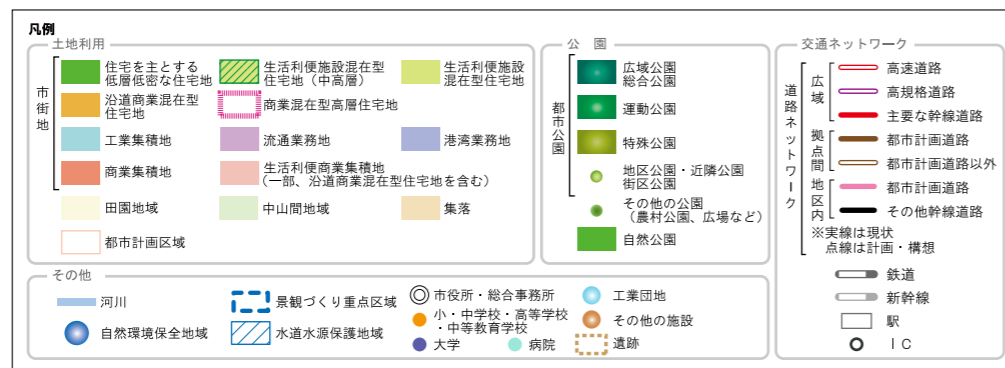
●雁木の機能性や安全で安心な生活空間としての利便性の向上を図るため、市民による雁木保存・活用への取組を支援します。

9 都市環境の保全

●産業活動に起因する騒音などの公害を防止し、生活環境の維持・向上を図るため、周辺と調和した適正な土地利用への見直しを図るなど、必要に応じて都市計画の面から支援します。

●環境負荷低減などのため、各分野と連携しながら、公園緑地や街路樹などの緑地空間の保全・維持管理を推進します。

地域づくりの方針図（高田周辺地域）



1 上越地域（4）上越妙高駅周辺地域

1) 地域の概要

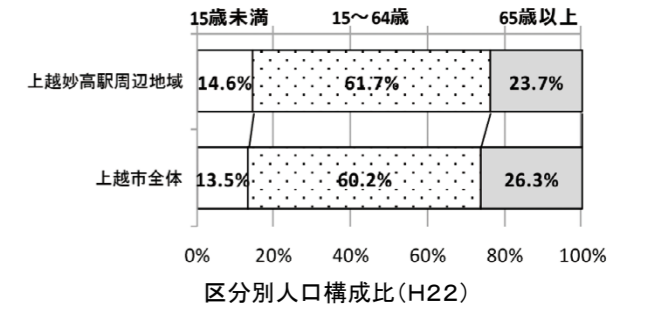
《位置》

●上越妙高駅周辺地域は、上越都市計画区域の南部に位置し、中心を一級河川矢代川、西部に一級河川青田川が南北に流れ、両川の流域を中心に、豊かな稲作地帯を支える沖積地が大きく広がっている地域です。

《都市計画上の位置づけ》

●上越妙高駅周辺地域は、線引き都市計画区域*となっており、上越妙高駅周辺及び一般県道上越脇野田新井線（通称：上越大通り）沿道を中心として市街化区域が広がり、その外縁部が市街化調整区域になっています。

*線引き都市計画区域：無秩序な市街化を防止し、計画的に市街化を進めるため、市街化区域と市街化調整区域に区分している都市計画区域



2) 地域の現状と課題

●北陸新幹線上越妙高駅及び上信越自動車道上越高田インターチェンジを有する本地域は、首都圏・北陸圏と上越地方全体を繋ぐ玄関口として重要な役割を担うことから、観光やビジネスなどを目的とした環境整備や都市基盤の充実を図りながら、市内外を行き来する人や物の玄関口となる地域づくりを推進することが必要です。

●田園地域では、一帯に広がる優良な農地や暮らし続けられる生活環境、地域の基幹産業である農業を守り、定住を促進するなど農村集落の維持に向けて取り組む必要があります。

●上越妙高駅の近くに釜蓋遺跡が位置するという地の利をいかした公園整備を進める必要があります。

1 地域資源

●長野県・東京都方面や富山県・石川県方面につながる北陸新幹線の上越妙高駅が平成27年3月に開業しました。

●本地域の西側及び北東側の平坦地には、広大な農地が広がっています。

●上越妙高駅の西側には、弥生時代から古墳時代の斐太遺跡群が広がり、本地域には、吹上（ふきあげ）遺跡と釜蓋（かまぶた）遺跡があります。（平成20年7月に国史跡に指定）



上越妙高駅東口

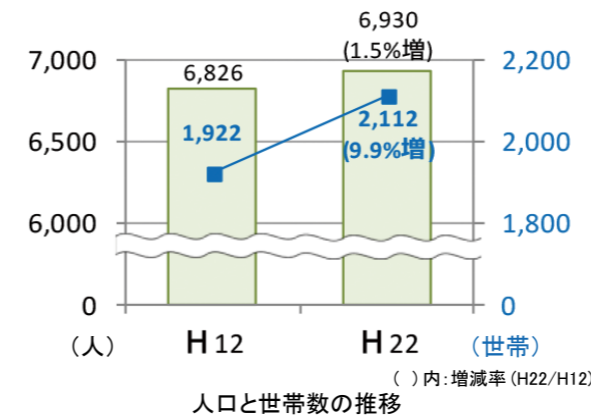


上越妙高駅西口と釜蓋遺跡

2 人口・世帯数

●平成12年と比較し、平成22年時点では人口、世帯数ともに増加傾向にあります。

●平成22年時点では、高齢化率は市の平均よりも低く、15歳未満の人口比率は市の平均よりもやや高い状況になっています。



3) 本地域が担う役割

『上越市の広域的なゲートウェイとなる地域』としての役割を担います。

4) 地域づくりの方針

●観光やビジネスを目的とした市内外を行き来する人々をもてなす環境整備や都市基盤の整備に向けて、商業、ビジネス、観光、流通業務などの都市機能の集積を目指します。

●地域一帯に広がる豊かな農業環境の維持・保全に努め、農村集落で暮らし続けられる地域づくりを目指します。

●遺跡見学などの歴史体験と連携した釜蓋遺跡公園の整備を進め、観光・文化資源としての活用により、市内外との交流・連携を支援します。

